

かいけ

ブログもご覧ください

発行者
皆生みどり苑（特別養護老人ホーム）
〒683-0002 米子市皆生新田2-3-1
電話 0859 (32) 2500
FAX 0859 (32) 2507
E-mail midori_info@tottori-kousei.jp

皆生みどり苑2丁目

検索

皆生みどり苑



皆生みどり苑



CONTENTS

🌸 敬老会特集

🌸 みどり苑を支える
スペシャリストたち
(部署紹介)

Topics 敬老作品展 施設長のひとりごと 寄付の御礼
ボランティア&実習紹介 職員募集



令和7年度

敬老会

今年は百六賀の方を筆頭に、21名の節目祝の方を中心に各ユニットごとでお祝いしました。

多数のご家族様にもご参加いただきました。心よりお祝いを申し上げます。

節目祝の方へお送りした賞状の文面にもありますが、その豊かな人生に深い敬意を表し、これからの日々が穏やかなものでありますよう、心からお祈りいたします。



敬老

苑長 飯田健一

敬老祝賀式を迎えるにあたり、入居者の皆さまのこれまでの歩みに心より敬意を表し、お祝い申し上げます。長い年月を通じて社会や家庭を支えてこられた皆さまの姿は、私たちにあって何よりの誇りであり、日々の励みとなっております。

また、日頃より入居者さまを温かく支えてくださっているご家族の皆さまにも、心から感謝申し上げます。コロナ禍以降、面会や行事の制限などご不便をおかけすることもしましたが、皆さまのご理解とご協力のおかげで、安心して過ごせる環境を維持することができております。本当にありがとうございます。

これからも、入居者の皆様が笑顔で穏やかに過ごせるよう、職員一同、心を込めてお手伝いしてまいります。どうぞ今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬老作品展

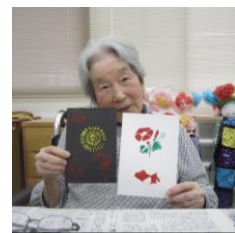
ペーパーフラワー & ペーパーツリー



紙で作る花木の種類はたくさんありますが、
今年は細く切った色紙をねじり、
花びらや葉っぱの柔らかさを表現しました。



令和の夏、 日本の夏



今年の夏も酷暑でした。
『涼しくなりますように』と、
型と絵の具に念を送りながら
ステンシルをしました。

*ステンシルとは、文字や模様が切り抜かれた
型紙(シート)の上から 絵の具やインクを刷り込むことで、
簡単に模様を転写する技法です。



夏の 思い出



納涼祭

今年の納涼祭は金魚すくい、当てくじ、
ダルマ落としの3本立て。
賑やかな雰囲気の中で身体を動かしながら
楽しませていました。



すずらんユニットでは、夏バテ防止に
うなぎ(!)をみんなで食べました。
デザートはご利用者で盛り付け&飾り
付けをしました。
ユニットでの調理では、調理員さんと
管理栄養士さんの手さばきにみんな釘付
けでした。

8月の天気の良い日
に、車椅子の高圧洗浄
をしました。今年の夏
は雨が降らず、よく乾
きました。

みどり苑を支える スペシャリストたち

Experts Supporting Midorien

当施設には90名を超える職員がいます。
ご利用者の命と生活、そして互いの仕事を支えるため、
日々協力し合っています。
今回はそんなスペシャリストの仕事ぶりを、部署単位でご紹介します。

介護部門

介護部門は、直接ご利用者の生活を支える部署です。
皆生みどり苑の基本方針にあるように、個人の尊厳を尊重し、ご利用者が安心安全な生活を送ることができるよう、日々支援しています。

全室個室の『ユニット型』と2人部屋を基本とした『従来型』の2種類の指定を受けていますが、
ケアの基本は同じです。
ご利用者ひとりひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進しています。



個別ケアとは？

→ ご利用者一人ひとりの個性や生活歴、生活習慣、ニーズに合わせて、柔軟に提供されるケアのこと。
可能な限り個人のペースで生活ができるようにご利用者の状況をきめ細かく把握し、
心身の状態や希望に沿った介護を提供します。

従来型（2人部屋）

1F けやきユニットです。
地域密着型の特別養護老人ホーム（米子市）の指定を受けています。
特別養護老人ホームの従来型多床室（2人部屋・20名）と短期入所生活介護（6名）の最大26名と一緒に生活されています。



お部屋はカーテンで仕切られており、
1人あたり6畳程度のスペースを確保しています。



20名程度が一度に集まることのできる食堂です。
思い思いに過ごされています。

<目標>

- 職員間の情報共有をしっかりと行い、統一したケアを提供していきます。
- 職員一人一人が気づきを持てるよう日々のケアを大切に、気づきを活かせるチームケアを目指します。
- ひとつひとつのケアを丁寧に行い、ご利用者に安心感のある生活を送っていただけるよう居心地の良いユニットを目指します。

<今年度、特に力を入れていること>

- 体調維持 ➤ ご利用者それぞれに合った食事を提供し、楽しく召し上がっていただくよう、栄養士、看護師と連携しています。
- 笑顔で過ごしてもらう ➤ ご利用者の楽しみ支援の一つになるように各種催し物や行事を企画しています。
ご利用者の気持ちに寄り添い、安心して笑顔で過ごしていただけるようなコミュニケーションとケアに努めています。



介護部門

ユニット型（全室個室）

2F：なでしこユニット、ききょうユニット
3F：すずらんユニット、すみれユニット

合計80名

ユニットケアとは？

→ 10人程度の少人数のグループ（ユニット）を一つの生活単位として区分し、各ユニットに専用の居住空間と、固定の介護職員を配置するケアの方式です。少人数で顔なじみの関係が作りやすく、自宅に近い環境で過ごされています。個別ケアを効果的に行うための「環境」や「体制」です。

日常のヒトコマ

各ユニットには玄関があります。お客様を迎え入れること、ご利用者が安心して過ごすことができることが両立できる設えを心がけています。



各ユニットの中心にはリビングがあり、ご利用者同士の交流や、職員とのコミュニケーションの場になっています。



余暇時間は好きなことをして過ごされています。
施設内の散歩、ぬり絵、編み物、刺し子、音楽鑑賞…etc.
もちろん、お昼寝もOKです。

ご利用者の身体状況に合わせて、3種類の入浴方法を使い分けています。



個浴（一般浴）：
家庭のお風呂に近い形です。主に自力で歩行できる方が利用されます。



リフト浴：
専用の椅子に座った状態での入浴です。座ることができれば、今までと同じお風呂に入ることができます。



臥床浴（ストレッチャー浴）：
寝たままの入浴です。座ることが難しくなっても、入浴時の身体への負担を最小限に留めることができます。

単に清潔を保つだけでなく、入浴を「気持ちよく、リラックスできる時間」として提供するため、様々な工夫を凝らしています。

- ・落ち着いたBGMを流し、心地よい空間作りをしています。
- ・季節に応じた入浴剤や、ゆず湯や菖蒲湯といった日本の伝統的な変わり湯を実施しています。「気持ちよかった」「いい匂い」といったご利用者様からの嬉しい声も多く、季節の移りを感じていただく機会にもなっています。

総務

働きやすい環境づくりと介護の質の向上を目指して

総務は、ご利用者と職員が日々を快適に過ごせるよう、多岐にわたる業務を通じてサポートしています。施設の運営に欠かせない建物・備品の管理や、ご利用者の安心・安全につながる環境づくり、そして職員が働きやすい環境を整えることも、大切な役割です。

当苑は「介護の質の向上」と「職員の負担軽減」の両立を目指しており、総務は業務効率の改善の方策を検討しています。例えば、この9月には職員が介護記録にかける時間を削減し、

入居者とのコミュニケーションやケアにより集中できる環境を整えるため、介護記録をハンズフリーで音声入力できる音声AI入力システム「ほのぼのVOICE」を試験的に導入しました。

こうした新しい技術の積極的な活用などにより、これからも、「ご利用者の生活」と「職員の働きやすさ」、その両方を大切にしながら、より良い施設づくりに貢献して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



機能訓練

生活リハビリで 働きやすい職場作りと介護の質の向上を！

機能訓練部門は機能訓練指導員（理学療法士）1名の部門です。
個別機能訓練の計画立案・機能評価、職員への助言・提案、福祉用具の選定が主な役割です。



電動リフト



車椅子



電動ベッド（全床）



スライドシート・グローブ

特養は病院や介護老人保健施設のように短期で生活する場所ではなく、長期にわたり入居する「生活の場」です。そのため特養では介護を受ける場面が多く、介助を通して行われる生活リハビリが快適な生活を継続するためにとても重要です。

生活リハビリとは

リハビリの専門職が直接的に筋力アップを目指す機能訓練を実施するのではなく、車椅子の乗り降りやトイレ、良い姿勢で座ることなど利用者が日常を生活する上で行う活動をリハビリと捉え、日常生活の中で出来るだけ自分の力で生活出来るよう介護職員などが支援することを指します。



働きやすい職場作りと 介護の質の向上のために

介護といえば「大変な力仕事」のイメージを持たれているかもしれませんが。実際に過去はそうでした。しかし、現在は最新の福祉用具や正しい介助により負担が少ない介助方法があります。それは生活リハビリにも繋がります。不自然な機能低下を予防することにもなります。それらを利用者の状態に合わせ正しく伝えることが機能訓練指導員の役割となります。これからも働きやすい職場と介護の質の向上を目指して頑張ります！

生活相談

生活相談員は ご利用者とご家族の身近なパートナーです



生活相談員は、ご利用者お一人おひとりが安心して穏やかに生活できるように、ご家族の皆さまにとっても疑問や不安を気軽に相談できる窓口として、さまざまな面でサポートしています。

2名の生活相談員が主に以下の業務を担当しています。

【ご相談窓口】

- ・ご利用者やご家族、地域の皆さまからのご相談をお受けしています。
- ・ご利用料金や短期入所に関する質問をお受けしています。
- ・ご意見は真摯に受け止め、より良い施設づくりに活かします。

【各種手続きのサポート】

- ・入所や退所に関する手続き全般をサポートします。
- ・介護保険関係をはじめとするご利用者に関わる各種申請や手続きをサポートします。
- ・成年後見制度の申し立てに関するご相談に応じます。

【暮らしを豊かにするお手伝い】

- ・地域の方々との交流会や、ボランティアの方による演芸などを企画・運営しています。
- ・敬老会や餅つき大会、各種レクリエーション（書道、工作、お散歩など）を通じて、日々の生活に楽しみと彩りを添えます。
- ・国政選挙、地方選挙の不在者投票や期日前投票をお手伝いします。
- ・広報誌を年2回発行し、施設の様子をお届けします。

【その他】

- ・施設にしながら散髪ができるよう、月に2回、移動美容室を招いています。
- ・ご利用者やご家族へのアンケートを毎年実施し、ご意見を伺っています。

* ご不明な点やご不安なことがありましたら、いつでも生活相談員にご相談ください。

”噛む力“や”飲み込む力“が弱くなった方でも
無理なく安全に美味しく食べられるよう工夫した介護食を、
当苑では「なめらか食」と呼んでいます。

なめらか食は、基本手作りを心がけており、
食材一つ一つをだし汁から煮て調理しています。
見た目や食べやすさはもちろん、
食材を味わう喜びも大切に、日々業務を行っています。



普通食



なめらか食

① 模様となる食材を
型抜きして並べる。



② その他の食材は
ミキサーにかけて
流し入れる。



③ 固まったら、
適切な大きさに
切り分ける。



④ 完成!!



なめらか食



厨房では、20代から70代までの各世代が
和気あいあいと働いています。
合同調理などの施設行事にも参加しています。
これからも皆様に喜んでいただける食事作りに
努めてまいります。



合同調理

出来立ての天ぷらを
どうぞ♪



合いの手は任せて!!

もちつき

医務室（看護）

配置医師（加藤クリニック）の指示のもと、看護師6名
体制で、ご利用者の皆様の健康を管理しています。



これからの季節はインフルエンザ、コロナなどのワクチン接種が始まります。
今年から対象者の方に带状疱疹ワクチン接種も加わりました。同意書や受診券な
どについて連絡させていただきます。
ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご不明な点は医務室までお気軽にお問い合わせください。



ボランティア & 実習受け入れ

今年度上半期でたくさんのボランティアの皆様、
実習生の皆様に来ていただきました。
紙面等の許す限り紹介させていただきます。
数ある施設から当施設を選んでいただき、ありがとう
ございます。
ぜひこれからもお越しください。お待ちしております。

ハーモニカ 中川様



歌謡ショー ユーユースラザーズ 様



傘踊り 溝口傘踊り同好会 様



ドッグセラピー



はっぴねす 様



マジック 米子マジック同好会 様



ボランティア体験事業



ボランティア体験事業は鳥取県社会福祉協議会が毎年実施しています。今年度は2名の方に3日間お越しいただきました。夏祭りと作品展の準備で大変お世話になりました。

実習等

米子北高看護科（老年看護実習）
YMCA介護福祉士科（施設実習Ⅱ）

3名
2名

鳥大医学部1年生（早期体験・ボランティア）2名
米子北高1年生（探究学習「職場体験2025」）4名

職員募集

現在、介護員を募集しております。
ハローワークにも求人情報を掲載しております。
ぜひお問い合わせください。

（人事担当：0859-32-2500）

寄付の御礼

心温まるご寄付をいただきました。
ご利用者の生活に役立てさせていただきます。

- ・ ウェス用古着、タオル等/匿名（ご利用者家族）様
- ・ ウェス用古着、タオル等/もめんの会 様
- ・ ウェス用古着等/匿名（ご利用者家族）様